

会 議 録

会議の名称	第1回茨木市生涯学習施策推進委員会
開催日時	令和8年2月13日(金) (午前)・午後) 10時00分 開会 (午前)・午後) 11時40分 閉会
開催場所	生涯学習センターきらめき3階305室
委員長	今西 幸蔵 委員長
出席者	【委員】 今西委員長、井上委員、内山委員、落合委員、貝本委員、川村委員、木村委員、木本委員、小林委員、野崎委員、福永委員、三輪委員、 <以上、12名>
欠席者	采女委員、森委員、山田委員 【3人】
事務局職員	中井市民文化部長、今西市民文化部次長兼文化振興課長、松本文化振興課参事、庄田文化振興課上席主幹兼生涯学習センター所長、三宅文化振興課生涯学習係長 【5人】
開催形態	公開
議題(案件)	1 開会 2 茨木市生涯学習推進計画推進状況報告書について 3 令和6年度茨木市生涯学習センターきらめき事業概要について 4 その他 5 閉会
配布資料	1 会議次第 2 令和6年度茨木市生涯学習推進計画事業進捗報告書 3 令和6年度茨木市立生涯学習センター事業報告 4 令和7年度きらめき主催事業一覧
傍聴人	0人

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西次長	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1 開会</div> ただ今より、第1回茨木市生涯学習施策推進委員会を開催する。 開会にあたり茨木市市民文化部長からご挨拶申し上げます。
中井 市民文化部長	【中井市民文化部長あいさつ】
今西次長	本日の出席状況は、委員総数15人中、現在12人にご出席いただいているので、委員会規則第6条第2項より、会議は成立している。規定に基づき、議事進行は今西委員長にお願いしたい。
今西委員長	報告のとおり、本会議は定員を満たしていることから、会議を進行する。 まず、議事の進行にあたり、議事の公開についてお諮りしたい。 本会議は公開とし、傍聴者の資料閲覧及び持ち帰りも許可し、ホームページや情報ルームに設置する会議録については、要点筆記の形式で作成する。また発言者の氏名は公表し、内容は委員長に一任していただくということによろしいか。
委員全員	【異議なし】
今西委員長	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1 諮問について</div> それでは、まず、「諮問」について、事務局より説明を求める。
庄田所長	本委員会の開催にあたっては、当委員会規則第2条より、福岡市長より諮問書を受けている。今年度は「茨木市生涯学習推進計画の進捗状況等」について、諮問を受けている。
今西委員長	【諮問の説明について】 事務局より諮問について説明があったが、ご意見ご質問はあるか。 ご意見がないようであれば、次の議題である「1 茨木市生涯学習推進計画推進状況報告書について」について、説明を求める。
三宅係長	【1 茨木市生涯学習推進計画推進状況報告書について】

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員長	事業の報告について、質問や意見はいかがか。
野崎委員	本市の報告書の1ページ中に「きらめき はばたく まなびのまち 茨木」というめざす姿があるが、どの程度の市民が実感でき、転入や在住に繋がっているか教えていただきたい。また、おにクルの開館や中学校部活動の地域移行など市の取り巻く状況が変化する中で、各事業の活動実績の指標は見直しを行うか教えていただきたい。
今西委員長	2つの質問があった。事務局いかがか。
庄田所長	1つ目の転入・在住に関しては、人口は微増傾向で、令和2年から令和7年で約3千人増の状況である。2つ目の活動実績の指標見直しは、実情に沿わない部分もあると思うので、見直しする必要があると認識している。
今西委員長	野崎委員いかがか。
野崎委員	市民の方の生涯学習に係る満足度はいかがか。
庄田所長	本センターでは年間200以上の講座を実施し、受講生のアンケートからも満足したとの声もある。しかし本センターを知らない方も多くいるため、本センター外で実施するイベントに出向き、周知に努めていきたい。
今西委員長	他、いかがか。
内山委員	茨木市は「生涯学習都市宣言」を採択しており、多くの事業・施策を生涯学習の中で把握し、集約していることは良い試みだと思う。そこで質問だが、事業進捗報告書を取りまとめた後、各部局にどのように活用しているのか。報告の中で、15ページ「応急手当普及啓発活動事業」は評価が低い理由として、災害現場担当職員が兼務していると報告があったが、本資料を通じて、市の内部で連携する必要があると思う。現状はいかがか。 また、基本目標「1 まなびづくり」は、様々な学習の機会を提供し、充実しているが、基本目標「2 ひとづくり」のやや進捗に遅れがあるとの報告があり、講座の中で支援者を募るなどの方向性もよいのではないかと思う。さらに指導者の人材育成は、団体の高齢化等も課題であるため、支援が必要かと思う。
今西委員長	生涯学習の取組が良いという評価をいただいたが、基本目標「2 ひと

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
三宅係長	<p>づくり」の部分がやや進捗に遅れがあるため、基本目標「1 まなびづくり」と繋げるような方向性があったが、事務局いかがか。</p> <p>1点目の事業評価資料の作成後の庁内共有について、担当課と共有はしているが、資料を活用した部局間の連携は取り組めていない。</p>
庄田所長	<p>2点目の「ひとづくり」の進捗に遅れがある部分は、今年度立命館大学主催「GLOBAL WEEK」のイベントにて、きらめき講座の講師と受講生によるワークショップブースを出展した。受講生は講師として人に教えるという経験を喜んでいただいた。また参加者の学生や子ども達も楽しんでいただき、さらにはきらめきの活動を知っていただく機会となった。引き続き、本センター外での活動を継続して実施する。</p>
今西委員長	<p>大学との連携で新たな世界が開けることもあるため、両者がマッチングしていけたらよいと思う。</p> <p>他、いかがか。</p>
内山委員	<p>学んだ人が教えたくなる講座があることを理解した。指導者の人材育成は、団体のメンバー数が減少しているため、組織の再構築も必要かと思うが、今回参加された方が子ども会や老人クラブ等に力を貸してくれるのかと思った。</p>
今西委員長	<p>ご意見ありがとうございます。他、いかがか。</p>
木村委員	<p>生涯学習は、時間が確保できたら何かをやりたいと思ったことに挑戦することや、自分ができることを見つけることが学習の根本ではないかと思う。自分が持つ知らない部分を引き出す講座があればよいと思う。</p>
今西委員長	<p>木村委員のご意見は、学習の入口・きっかけづくりが、基本目標「1 まなびづくり」や基本目標「2 ひとづくり」の中に設定されていれば、学習を始めることができるということである。また、自分の隠された能力を見つけることは、社会教育では「学習相談」に位置付けられる。私も大阪府の生涯学習センターの仕事に携わっていた際、「自分は何をしたらいいか」と相談を受けていた。学習のきっかけづくりは、生涯学習センターの大きな役割であるため、充実していければと思う。</p> <p>他、いかがか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
三輪委員	<p>1つ目に、36 ページ「青少年活動・育成事業」の報告の中で、PTA とこども会の加入数の減少や無くなる傾向にある。歯止めをかける方法として、こども会で参加する魅力的なイベントを企画実施し、市がそれを財政的に支援することはどうか。イベントに参加するこどもは喜んでいるが、共働き家庭の増加や役員を担当することが難しいなど、保護者が消極的という背景があると思う。</p> <p>2つ目に、ごみのカラス問題の対策として、市が路上ごみのネットに代わる何かを財政的に支援をするのはどうか。</p>
今西委員長	<p>1つ目の意見はとても重要である。社会全体で起こるコミュニティの課題であり、この課題を解決するために魅力的なイベントを開催すると提案いただいたが、この内容は大きな課題であるため、後でご意見をいただきたい。また2つ目の意見として、今回C評価が3つあり、内1つがごみ問題に関連するものである。そこで、3事業のC評価の理由について、事務局から説明を求める。</p>
三宅係長	<p>C評価がついた理由について、それぞれ説明する。</p> <p>まず、1つ目の15 ページ「応急手当普及啓発活動事業」は、講習の担当職員が災害現場の担当職員と兼務しているという状況であり、講座の開催数や受講者数の伸びが頭打ちしていることからC評価としている。2つ目の38 ページ「高齢者関係団体育成・支援事業」は、高齢者世代になっても働き続ける人が増加するなど社会背景の変化により、老人クラブの会員数が減少傾向のため、C評価としている。3つ目の39 ページ「茨木市廃棄物減量対策等推進員活動促進事業」は、自治会構成員の高齢化や自治会未結成などにより、推進員の推薦が困難な地域もあり、目標とする数値に届かない現状によりC評価としている。</p>
今西委員長	<p>C評価の事業について、事務局から説明があった。いかがか。</p>
井上委員	<p>15 ページ「応急手当普及啓発活動事業」のC評価は、参加者数の目標値が令和7年に1万5000人、令和5年、6年度の実績値は約1万人と目標値を高く設定していると思う。私も災害対策関連イベント実施に関わっているが、ベビーカーのこども連れの方もいて、参加者の関心はとても高い。より広げるべき取り組みであるため、今後の周知が必要であると思う。</p>
今西委員長	<p>井上委員からの意見はその通りだと思う。また、この事業の評価について、令和5年、6年度参加者数が減少傾向であるが、C評価は厳しすぎる</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
井上委員	のではないかと。B評価としてもよいのではないかとと思うが、井上委員いかがか。
今西委員長	同意見である。
委員全員	それでは、この事業の評価をBに変更するが、各委員よろしいか。
委員全員	【異議なし】
今西委員長	15 ページ「応急手当普及啓発活動事業」はB評価とする。 次に、39 ページ「茨木市廃棄物減量対策等推進員活動促進事業」は、廃棄物減量等推進委員の減少がC評価の要因の1つであるが、社会の構造的な変化による「担い手不足」の課題であるが、いかがか。
内山委員	地域でリーダー担う方が減少していることが、ひとつづくりの課題である。 廃棄物減量等推進委員数は目標値に達していないが、12 ページ「家庭系ごみ減量推進事業」のフードドライブや、24 ページ「エコポイント制度実施事業」の取組は順調に進んでおり、環境問題への関心は深まっているものの、個人的な活動でなり、コミュニティのために力を尽くす部分までは届いていない。リーダーシップをとるような募集方法を検討するなどして、個人的な活動からコミュニティのためになる活動の転換が必要なのではないかと思う。
今西委員長	事務局、いかがか。
庄田所長	社会構造の問題については、生涯学習センターに留まらず市全体の課題であると思う。各課と共有し、担当課ごとに取り組みを検討する。
今西委員長	他、いかがか。
落合委員	廃棄物減量等推進委員について、所管課の産業環境部だけでなく、自治体そのものが活性化する必要がある。おにクルの開館に伴い部局を超えて共創する動きがあると聞いているが、担当課単独で悩むのではなく全庁的に対策を考えることが重要であると思う。 38 ページ「高齢者関係団体育成・支援事業」は、老人クラブが減少しているがシルバー人材センター会員数は伸びており、ニーズが変わっている可能性も推測できる。単に老人クラブ会員数を増やすことではなく、高齢

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>者の育成支援という観点からも考えることが必要であると思う。</p> <p>次に、32 ページ「ホームページ・SNS 運営事業」のホームページアクセスユーザー数の活動実績が抜けている。</p> <p>最後に、56 ページ「市民参加型森林保全事業」で「里山センターが老朽化により利用停止となる」と記載がある。令和 8 年 3 月で閉鎖と聞いているが、今後の方向性では「早急に新たな施設が設置できるように努める」と記載があり、令和 6 年度事業実績の審議がこの時期であることに違和感がある。</p>
今西委員長	事務局、いかがか。
庄田所長	32 ページ「ホームページ・SNS 運営事業」ホームページアクセスユーザー数は、修正する。また、本審議会の開催時期については、今西委員長と検討する。
今西委員長	落合委員や三輪委員の意見にも関わるが、C 評価が正当か疑問である。社会構造の変化に伴って、コミュニティの構造的な問題がある中で、個別の活動評価が難しい。評価はこのままでいいか。各委員、いかがか。
内山委員	団体のリーダーの担い手がない件は、団体だけで考えるのではなく、全庁的に考える必要があると思う。また、三輪委員の意見にも財政的な支援が必要あるが、有償ボランティアを検討してもいいのではないかと思う。
今西委員長	他、いかがか。
木本委員	市内には多くの外国籍の住民がおり、言葉の壁の問題を抱える場合も多いが、何かの活動に参加したいと感じている。また、市では日本語講座を積極的に支援し、支援ボランティアと繋がりがあると思う。今回、報告の中に、こどもが楽しめる吹奏楽演奏会や自然体験など、言語に依存しないノンバーバルなイベントがあった。言葉を必要としない講座を取りまとめ周知すれば、支援ボランティアが熱心に広めてくれると思う。市内で国際交流をすることで、外国籍の人の参加もあればイベント参加者は増加し、市全体の活性化につながるのではないかと思う。
今西委員長	事務局、いかがか。
今西次長	市内の外国人の方は増えており、文化振興課では国際交流の業務も担い、

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員長	<p>関連団体も所管している。外国人の方の交流場所や交流のきっかけとして生涯学習も活用できればと思う。</p> <p>また行政が抱える課題は、要因が単独ではなく、様々なことが密接な関係により生じているため、各分野が共創することで良い方向に傾くきっかけになると考える。ご提案いただいたように、生涯学習も交流のきっかけとして提供できればと考える。</p> <p>他、いかがか。</p>
小林委員	<p>国際交流について、自治会でも追手門学院大学の学生と一緒に地域の餅つき大会を開催したが、外国人の方が数名参加され、小さな国際交流となった。</p> <p>民生委員や福祉委員も減少傾向であり、他市では定年を伸ばすなどの対応をしている。こども会・PTAもなくなりつつあり、老人会は女性が多く、男性があまり入らないという課題もある。</p>
今西委員長	<p>38 ページ「高齢者関係団体育成・支援事業」のC評価関わるが、廃棄物減量等推進委員の減少と同様に、コミュニティの構造的な問題だと思う。繰り返しになるが、個別の事業の評価としてC評価が適切であるか疑わしい部分があると感じている。コミュニティの考え方や組織の再構築を考えるべきであると思うが、いかがか。</p>
小林委員	<p>再構築とはどのようなものか。すぐに改善できるというものでもないと感じる。</p>
今西委員長	<p>例えば、兵庫県ではPTAの存続が難しくなった際にPTCAとしてコミュニティを加えた事例がある。各組織を尊重し再構築、融合も含め新しく組織を作り直していくことが全国的に必要なのではないかと考える。</p>
内山委員	<p>これらの課題は地域だけで解決することは難しく、その課題に対して市は新しい事業を実施しているので、広報に力を入れてはどうかと思う。例えば、21 ページ「高齢者いきがい推進事業」は、街かどデイハウスからのコミュニティデイハウスへの移行が進めており、高齢者の居場所を提供しているとあるが、来館者以外の対象年齢層に情報提供ができていないか研究することが必要ではないかと思う。また、PTAやこども会では、地域共同学校活動あるいは協議会があることや地域の部活動では地域の支援者</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員長	<p>がこども達にとって必要であることなど、今活動される団体に対して、市の新しい取組としての考えを周知する必要があるのではないかと思います。</p> <p>他、いかがか。意見がないようであれば、「令和6年度茨木市立生涯学習推進計画事業進捗報告書」の報告は以上とさせていただきます。次に、「令和6年度茨木市生涯学習センターきらめき事業概要」について説明を求める。</p>
三宅係長	<p>【3 令和6年度茨木市立生涯学習センター事業報告について】</p>
今西委員長	<p>事務局から「令和6年度茨木市立生涯学習センター事業報告」の報告があった。いかがか。</p>
小林委員	<p>生涯学習センターが市民に知られておらず、情報が届いていない部分があると思う。広報誌やホームページに掲載されているが、高齢者には紙媒体の広報も重要であるため強化する必要があるのではないかと。</p> <p>また、交通の便が非常に悪いのも課題かと考える。</p>
今西委員長	<p>生涯学習センターが余り知られていないという意見だった。色んな方法で広報いただければと思う。他、いかがか。</p>
福永委員	<p>ボランティアセンターでボランティア講座を実施するが人が集まらないという課題がある。市民から何か活動したいという相談があるが、何をしたらいいかわからない方もいる。生涯学習センターでは様々な講座等を実施しているため、人を繋ぐことができるのではないかと。</p> <p>また、社会福祉協議会でも福祉委員の人材の確保は課題である。課題に対して、活動の広報は非常に重要であり、ネットに慣れた高齢者もいるのでInstagramやXなどの様々な広報手段を用いることが必要であると思う。</p>
今西委員長	<p>小林委員の意見にもあった広報、また木村委員の「学び入口」となるような広報が必要ではないかと思う。</p> <p>他、いかがか。意見が内容であれば、「令和6年度茨木市立生涯学習センター事業報告」の報告は以上とさせていただきます。</p> <p>他、事務局いかがか。</p>
今西次長	<p>本日いただいたご意見等につきましては、関係各課と共有し、次年度の事業実施に向けて共有させていただきます。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員長	<p>また、答申書につきましては、会議終了後に事務局と今西委員長で調整させていただき作成した上で、委員の皆さまにお示ししたいと考えている。</p> <p>各委員、いかがか。</p>
全委員	<p>【異議なし】</p>
今西委員長	<p>次に、「その他」について事務局より連絡などあるか。</p>
庄田所長	<p>本日は、推進計画における令和6年度の事業進捗状況の報告、生涯学習センターの事業概要を報告させていただいた、この時期に審議会をさせていただいていることもあり、令和7年度の事業状況、また次年度の予算議会承認前で確定しているものではないが、令和8年度の一定事業の展開ということで、ご報告できる範囲でこの場を借りて報告させていただく。</p> <p>【令和7年度きらめき主催事業一覧等について】</p>
今西次長	<p>令和7年度の委員会は、今回をもちまして終了となる。多くの貴重なご意見によるご審議をいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>令和8年度の委員会開催については、委員長と開催時期について調整する。令和7年度の進捗状況の評価、令和8年度の実績状況、及び令和9年度の事業の方向性について、ご報告する予定である。</p> <p>また、現行の委員の委員委嘱期間について、令和8年2月15日をもって満了となる。2年間にわたり本推進委員会に参画いただき、活発にご審議いただいたこと感謝申し上げます。</p>
今西委員長	<p>それでは、これをもって議事を終了させていただく。ありがとうございました。</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">4 閉会</div> <p style="text-align: right;">以上</p>